

平成 27 年度 自己点検・自己評価報告書

平成 28 年 6 月 22 日現在

学校法人 国際学園

九州医療スポーツ専門学校

自己点検・自己評価委員会

< 目 次 >

基準1 教育理念・目的・育成人材像等

- 1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 1-2 学校の特色はなにか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 1-3 学校の将来構想を抱いているか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

基準2 学校運営

- 2-4 運営方針は定められているか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 2-5 事業計画は定められているか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか・・・・・・・・・・ 6
- 2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか・・・・・・・・・・ 7
- 2-8 意思決定システムは確立されているか・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか・・・・・・・・・・ 8

基準3 教育活動

- 3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか・・ 9
- 3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識・技術・人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、
また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか・・・・・・・・ 12
- 3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか・・・・・・・・ 18
- 3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
- 3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか・・・・・・・・ 21
- 3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- 3-17 資格取得の指導体制はあるか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

基準4	教育成果	
4-18	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	25
4-19	資格取得率の向上が図られているか	28
4-20	退学率の低減が図られているか	31
4-21	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	34
基準5	学生支援	
5-22	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	37
5-23	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	38
5-24	学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	41
5-25	学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	42
5-26	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	42
5-27	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	43
5-28	保護者と適切に連携しているか	43
5-29	卒業生への支援体制はあるか	46
基準6	教育環境	
6-30	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	47
6-31	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	47
6-32	防災に対する体制は整備されているか	48
基準7	学生の募集と受け入れ	
7-33	学生募集活動は、適正に行われているか	48
7-34	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	49
7-35	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	49
7-36	学納金は妥当なものとなっているか	50

基準 8	財務	
8-37	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	50
8-38	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	51
8-39	財務について会計監査が適正におこなわれているか	51
8-40	財務情報公開の体制整備はできているか	52
基準 9	法令等の遵守	
9-41	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	52
9-42	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	53
9-43	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	53
9-44	自己点検・自己評価結果の公開はしているか	54
基準 10	社会貢献	
10-45	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	54
10-46	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	55

基準 1 教育理念・目的・育成人材 (平均評価：3.7)

1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか

点検結果： 完璧(5) ・ <u>かなり進んでいる</u> (4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 教育理念として「士魂医才」を掲げ、武士のような誇りと愛情をもって、医療に関わる人としての才覚を身につけた人財の育成を目指している。そして「挨拶」「感謝」「感動」「責任」を尊び、幼児から高齢者まで動ける体づくりをサポートすることを目指す「ZERO100プロジェクト」を学校のビジョンとし、すべての人々へ健康に関する様々な情報を発信し、活気ある地域、ひいては全世界、地球への貢献、幸福を創造する人財育成に努めている。			
課題とその解決方法 「ZERO100プロジェクトの実現」のために各学科・部署での取り組みを、より明確化する必要がある。そのためには教職員一人一人が「ZERO100プロジェクト」を、さらに深く理解し、このプロジェクトの実現のための具体的行動計画を学科・部署毎に立案し、実行する。			
最終更新日付	2016年 4月 15日	記載責任者	中村 潤

1-2 学校の特色はなにか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 本校は校名にもあるように、医療系とスポーツ系の学科で構成されている。柔道整復師や鍼灸師、理学療法士の国家資格取得ならびにアスレティックトレーナーや整体師の資格取得を目標に教育課程が編成されており、資格取得に向けての徹底した指導を行っている。 平成28年度より東篠崎校舎と片野校舎にある全学科を新しく馬借に設置する新校舎に移設することで、今まで以上に通学の利便性が高くなり、また、勝山公園や北九州市の中央図書館も近くにあるなど、非常に優れた教育環境を提供できる。			
課題とその解決方法 他の養成校との差別化を図る意味において、学科毎に専門職の養成に係る本校独自の特色を一層具体化していく。			
最終更新日付	2016年 4月 15日	記載責任者	中村 潤

1-3 学校の将来構想を抱いているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる (4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現 況 1-1 で述べたことを具現化するために社会的ニーズの高い学科等を順次開設していく。 平成 28 年 4 月開設を目途に社会的ニーズの高い看護学科の開設準備を鋭意進めている。 平成 29 年 4 月開設を目途に、歯科衛生士、作業療法士、介護福祉士の養成学科を開設予定。			
課題とその解決方法 少子化の影響で学生確保に困難を伴う時代ではあるが、本学が養成する専門職の存在意義について高等学校をはじめ社会全般にしっかりと啓蒙していく必要があると考える。具体的には高校生対象のガイダンス、高校進路指導部への広報、オープンキャンパスの在り方、本校ホームページの工夫改善等を推進し、広報活動を充実させていく。			
最終更新日付	2016 年 4 月 15 日	記載責任者	中村 潤

基準 2 学校運営 (平均評価：3.8)

2-4 運営方針は定められているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現 況 学園・学校運営方針は、年間を通した教職員研修会において理事長の運営方針を受け、校長を中心として教職員が業務目標を決め取り組んでいる。また教育方針は文書にて明示し、教職員・学生とも把握している。			
課題とその解決方法 全教職員に伝達され、特に問題なし。			
最終更新日付	2016 年 4 月 28 日	記載責任者	西田 真紀

2-5 事業計画は定められているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 年度ごとの事業計画書を理事会の審議を経て策定している。			
課題とその解決方法 事業計画に沿った運営をするための周知徹底を図る必要があるため、各学科で運営会議を開催する。			
最終更新日付	2016年 4月 28日	記載責任者	西田 真紀

2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり <u>進ん</u> でいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 組織図、各種会議が明示され、定期的に行われ、議事録を回覧している。			
課題とその解決方法 効率的になっており、特に問題なし。			
最終更新日付	2016年 4月 28日	記載責任者	西田 真紀

2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 就業規則、賃金規定等が定められており、事考課制度が整備されている。			
課題とその解決方法 各規則・規定が定められており、特に問題なし。			
最終更新日付	2016年 4月 28日	記載責任者	西田 真紀

2-8 意思決定システムは確立されているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 学科毎の会議等で方針を決めたものを、校長を中心とした教職員会議に諮っているため、ある程度確立されている。			
課題とその解決方法 確立されているため、特に問題なし。			
最終更新日付	2016年 4月 28日	記載責任者	西田 真紀

2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)

現況

OA機器の整備、生徒管理・教務システムを導入し、効率的な運営を図っている。

課題とその解決方法

システムの一部改善が必要の為、改良を加えながら不具合が出ないようにしていく。

最終更新日付

2016年 4月 28日

記載責任者

西田 真紀

基準3 教育活動 (平均評価：3.4)

3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか
(柔道整復学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 各担任によつての教育目標、育成人材像によつて学年のカラーがあるものの、現在の柔道整復師業界における新しい時代に対応出来る人材育成に取り組んでいる。勉強だけではなく、文化祭や長崎街道ウォーク、オープンキャンパス等イベントに積極的に協力し、社会を通して、教育目標である「挨拶、感謝、感動、責任」を伝えている。			
課題とその解決方法 担任の色ではなく、学校の教育目標として全学年、全教員で取り組む必要がある。			
最終更新日付	2016年 5月 6日	記載責任者	桑野 幸仁

(鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 本校の vision でもある zero100 プロジェクトを実現すべく、小児から高齢者までに対応できるような鍼灸師の輩出を目標としている。			
課題とその解決方法 教育目標は明確化されているが、実際にどう実行するかなどがまだ不明瞭である。今後はそういった話し合いの場を設け、具体的にどうすべきか決定していく。			
最終更新日付	2016年 4月 25日	記載責任者	堀之内 貴一

(スポーツ鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 スポーツ鍼灸学科で時代のニーズに対応した「健康」をプロデュースできるカリキュラムを構成し、一般の方から競技スポーツ選手までサポートできる鍼灸師の輩出を目標に掲げている。			
課題とその解決方法 教育目標は明確化されているが、それを実行するための方法がまだ完全に学科内で統一が図れていない。 今後、定期的に意見交換する場を設け、具体的な実行方法を決定していくとともに、目標を達成していく。			
最終更新日付	2016年 4月 24日	記載責任者	松波 賢

(理学療法学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 医療・介護・福祉・保健領域において理学療法士に求められるニーズに応える人材育成を教育目標とし専門的知識や技術の臨床スキルの習得を目指し、更に地域社会での理学療法士の機能と役割及び責任を理解することができる人材を育成する。			
課題とその解決方法 超高齢社会のニーズに応えるために、医療機関における実習のみならず介護・福祉・保健領域での実習を検討していく必要がある。			
最終更新日付	2016年 5月 9日	記載責任者	永野 忍

(アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつ</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 本校のビジョンである ZERO100 を実現できる人材育成に主眼を置いて教育を提供している。			
課題とその解決方法 今後、生涯スポーツ社会実現に向け、行政などと連携を図り、生涯スポーツ社会実現に向けて支援していくことが課題である。			
最終更新日付	2016年 5月 2日	記載責任者	寺本 敦司

(整体セラピスト学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつ</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 ケガをしにくい身体づくりを意識した施術や、身体と心もケアできる多種多様なセラピストの育成を目標としている。 現代の健康志向の時代背景にあったものである。			
課題とその解決方法 個々の学生の習得レベルの把握と、段階に応じた教員の指導方法の見直しを行う。			
最終更新日付	2016年 5月 28日	記載責任者	養田 のり子

3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識・技術・人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか

(柔道整復学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう(3)</u> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 プロフェッショナルな医療人を目指し、教育目標である「挨拶、感謝、感動、責任」を実践するため、生徒が自主的に考え行動することを勘案した授業を実施している。そのための学校内研修を実施している。			
課題とその解決方法 全教員が学生の将来を考え学び続けること			
最終更新日付	2016年 5月 6日	記載責任者	桑野 幸仁

(鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり <u>進ん</u> でいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 厚生労働省指定養成課程において指定規則等に基づいた教育を行っており教育到達可能レベルは明確に定められている。			
課題とその解決方法 学科内で連絡、引継ぎをしっかりと行うことで、教員の入れ替わり等による到達可能レベルに変更が生じないようにしていく。			
最終更新日付	2016年 4月 25日	記載責任者	堀之内 貴一

(スポーツ鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 厚生労働省指定養成課程において指定規則等に基づいた教育を行っており教育到達可能レベルは明確に定められている。			
課題とその解決方法 学科内で連絡、引継ぎをしっかりと行うことで、教員の入れ替わり等による到達可能レベルに変更が生じないようにしていく。			
最終更新日付	2016年 4月 24日	記載責任者	松波 賢

(理学療法学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 総ての科目において授業計画（シラバス）に授業概要と実施における教育目標を明記し、受講後に習得すべき内容を明確に定めている。 更に教育課程編成委員会の助言を反映して授業計画（シラバス）を構成している。			
課題とその解決方法 習得すべき内容の具体性の向上が課題であり、教育目標の見直しを行う			
最終更新日付	2016年 5月 9日	記載責任者	永野 忍

(アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 本校では、日本体育協会公認アスレティックトレーナー資格取得のほか、健康・体力づくり事業財団認定健康運動実践指導者、日本体育協会公認ジュニアスポーツ指導員など各年齢層に応じて運動プログラムを提供できる指導者資格を取得することができる。			
課題とその解決方法 資格取得を目指すことができるが、スポーツ現場に出る機会が少ないため、経験が少ない。そのため、地域で開催されているスポーツイベントへのさらなる参加を検討する必要がある。			
最終更新日付	2016年 5月 2日	記載責任者	寺本 敦司

(整体セラピスト学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 1年間で学び習得できる内容・カリキュラムとしている。			
課題とその解決方法 小テストにより学生の個人レベルを把握する。			
最終更新日付	2016年 5月 28日	記載責任者	養田 のり子

3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか

(柔道整復学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 本校のカリキュラムは1年・2年時と解剖学・生理学、柔道整復理論においては総論から入り、学生にとって学びやすいカリキュラムに編成されている。			
課題とその解決方法 2年・3年時においても、国家試験や臨床で大事となる解剖学等の補講の充実が求められる。			
最終更新日付	2016年 5月 10日	記載責任者	桑野 幸仁

(鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 教育目標に基づいて、医療従事者として必要なスキルや知識を修得するためのカリキュラムを構成している。 1年次は人体構造や機能、安全に施術するための基礎的な科目を配置 2年次は病理機能や臨床医学総論・各論、患者の不安を除くための応用的な科目を配置 3年次は疾患・症状や臨床現場で働くための臨床的な科目を配置			
課題とその解決方法 職業実践専門課程の意義を踏まえ、医療人としてのキャリア形成を含めた実践的な職業教育を推進していく。そのために外部企業と連携のもと社会ニーズ、業界ニーズを取り入れたカリキュラムを構築していく。			
最終更新日付	2016年 4月 25日	記載責任者	堀之内 貴一

(スポーツ鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現 況 教育目標に基づいて、医療従事者として必要なスキルや知識を修得するためのカリキュラムを構成している。 1 学年は人体構造や安全に施術するための基礎的な科目を配置 2 学年は生理・病理機能や患者の不安を除くための応用的な科目を配置 3 学年は疾患・症状や臨床現場で働くための臨床的な科目を配置			
課題とその解決方法 教育目標に基づいて、医療従事者として必要なスキルや知識を修得するためのカリキュラムを構成されていると考えられるが、さらに実践的な職業教育に立ったカリキュラムに構成するためにも、外部企業に協力を仰ぎ、体系的なカリキュラムの見直しと科目配置を行っていく。			
最終更新日付	2016年 4月 24日	記載責任者	松波 賢

(理学療法学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり <u>進ん</u> でいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現 況 養成校入学前の学習環境を鑑み、カリキュラムの進行に伴い教授目的や教授内容を具体的に示し、円滑に履修が進捗するように体系的に編成している。			
課題とその解決方法 学生個別の履修状況を把握するため履修評価の頻度を上げて行う。			
最終更新日付	2016年 5月 9日	記載責任者	永野 忍

(アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 学年ごとに取得目標とする資格試験に向けてカリキュラムが編成されている。 1学年は日本トレーニング指導者協会認定トレーニング指導者資格、2学年は日本体育協会公認アスレティックトレーナー資格取得を目標としている。 また、2学年では将来を見据えて健康・体力づくり事業財団認定健康運動実践指導者、日本体育協会公認ジュニアスポーツ指導員資格に必要なカリキュラムを提供している。			
課題とその解決方法 学生が資格取得した後に、どのような現場などで取得した資格を活かし、就職活動に結びつけられるのか、面談の中で説明していくことが重要である。			
最終更新日付	2016年 5月 2日	記載責任者	寺本 敦司

(整体セラピスト学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 特に手技に関しては基礎に時間をかけ、繰り返しの復習を行っている。			
課題とその解決方法 現場実習にて総合的に応用を学ぶ。			
最終更新日付	2016年 5月 28日	記載責任者	養田 のり子

3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか

(柔道整復学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 学生が理解しやすいようなカリキュラムの見直し、科目間のリンクが図れるように行っている。			
課題とその解決方法 1年時に医療分野の理解が図れること。			
最終更新日付	2016年 5月 10日	記載責任者	桑野 幸仁

(鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 現在、問題もなく適正な位置づけをされている。			
課題とその解決方法 各科目個別だけではなく、科目間の連携がうまく図れるよう、また学生の学習意欲がより高まるよう話し合いや意見交換の場を設ける。			
最終更新日付	2016年 4月 25日	記載責任者	堀之内 貴一

(スポーツ鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 現在、1学年のみで各担当教員で密に連絡を取り合っている状態だが、各科目によって進行速度が異なるため、科目同士の連携をもう少し工夫する必要がある。			
課題とその解決方法 各担当教員で密に連絡を取り合うのを継続しながら、学生の学習意欲がより高まるように場合によってはカリキュラム構成の見直しと改善も考慮する。			
最終更新日付	2016年 4月 24日	記載責任者	松波 賢

(理学療法学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 厚生労働省の理学療法士養成施設指針に基づき、「基礎」「専門基礎」「専門」の3領域にてカリキュラムを構成し、また学科の教育目標に則り、理学療法士としての見識をより向上させるため教育効果が期待できるよう各科目の位置づけを行っている。			
課題とその解決方法 理学療法士教育の充実のために早期臨床教育の充実を図る。			
最終更新日付	2016年 5月 9日	記載責任者	永野 忍

(アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 1 学年では、スポーツ指導者・アスレティックトレーナーとしての基本的知識習得を目標にカリキュラム展開している。 2 学年では、アスレティックトレーナーとしての専門的知識習得を目標にカリキュラム展開している。			
課題とその解決方法 現場で実習経験を積んでいくことが望ましいと考える。よって、外部で現場実習を運営していけるよう環境整備を整えることが重要である。			
最終更新日付	2016年 5月 2日	記載責任者	寺本 敦司

(整体セラピスト学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり <u>進ん</u> でいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 基礎知識となる解剖学・生理学を理解し実技とリンクできるようにしている。			
課題とその解決方法 基礎知識の習得レベルの把握。 応用実技の習得レベルの評価・実践。			
最終更新日付	2016年 5月 28日	記載責任者	養田 のり子

3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 おおむね前期授業が終了した時期に年1回、授業評価アンケートを実施している。			
課題とその解決方法 (課題) 後期授業を対象とした授業評価アンケートが年度末の繁忙期と重なり実施できていない。 (解決方法) 後期授業評価を対象とした授業評価アンケートの実施を検討する。			
最終更新日付	2016年 4月 23日	記載責任者	味村 吉浩

3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 学術面に秀でた教員(学位を有する教員)に併せて、臨床面に秀でた教員(長年の臨床経験を経た教員)を確保している。			
課題とその解決方法 学術面に秀でた教員と、臨床面に秀でた教員の相互間で情報交換を行い、教員の資質向上に努めている。			
最終更新日付	2016年 4月 23日	記載責任者	味村 吉浩

3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 学則に規定する「考査および成績評定」および「単位の付与」について学生便覧に掲載の上、随時説明を加えている。			
課題とその解決方法 「考査および成績評定」および「単位の付与」に関する学生への認知度は高いものと思われる。			
最終更新日付	2016年 4月 23日	記載責任者	味村 吉浩

3-17 資格取得の指導体制はあるか

(柔道整復学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 中間・期末試験、また3年時には実力試験を毎月実施し、成績不振者に対しての補講を行っている。 土日、放課後等を使い、学生全員の資格取得を目標としている。			
課題とその解決方法 合格率100%の達成。1・2年時からの資格取得に向けたシステム作り。			
最終更新日付	2016年 5月 10日	記載責任者	桑野 幸仁

(鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 中間・期末試験とは別に入学前の課題や年度末に実力試験を実施するなど学生の学力を把握する機会を設けている。 また中間・期末試験後に成績不良者に関しては面談を実施している。			
課題とその解決方法 面談等を実施し、学生の意欲の向上に努めているが、追再試験を受験する者も複数名いる。学力向上や意欲向上に関しては、補講等も検討している。 しかし、同様の学生は他学科にも存在することを考慮し、学科だけではなく、学校として対策を検討する必要がある。			
最終更新日付	2016年 4月 25日	記載責任者	堀之内 貴一

(スポーツ鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 学期末試験の他に、オリエンテーション時の学習前試験、学期半ばの中間試験、学年末に行う実力試験など定期的に試験を行い、学生本人の学力を把握している。 その後、資格取得に必要な学力と現在の学生本人の学力を確認するために面談を行っている。			
課題とその解決方法 現在、単位が未修得になる学生はいないが、それでも追再試験を複数科目受ける学生もいる。 よって、学力を確認すること＋学力向上を行う必要がある。 学力向上の具体的な方法は、授業前後の補講も検討するが、まずは授業内でいかに学力を向上させるかを学科内だけでなく、学校全体で検討し対策を講じる。			
最終更新日付	2016年 4月 24日	記載責任者	松波 賢

(理学療法学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 厚生労働省の理学療法士養成施設指針に基づき、「基礎」「専門基礎」「専門」の3領域にてカリキュラムを構成し、また学科の教育目標に則り理学療法士としての見識をより向上させるため教育効果が期待できるよう各科目の位置づけを行っている。			
課題とその解決方法 学生個別の学力を勘案して形式知の向上にむけた取り組みの充実を図る。			
最終更新日付	2016年 5月 9日	記載責任者	永野 忍

(アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 各資格試験においては、授業内で資格試験対策を行っており、試験直前対策講義を実施している。			
課題とその解決方法 夜間部ということもあり、授業内で実施していく上で時間的制約を受ける。 よって、授業前、休日においても実施していけるようなスケジュールが必要と思われる。			
最終更新日付	2016年 5月 2日	記載責任者	寺本 敦司

(整体セラピスト学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 資格取得をサポートするカリキュラムである。			
課題とその解決方法 試験前に対策授業を行っている。			
最終更新日付	2016年 5月 28日	記載責任者	蓑田 のり子

基準4 教育成果 (平均評価：2.9)

4-18 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか

(柔道整復学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 キャリアサポートセンターを中心に求人票ファイルの閲覧、企業との調整、就職説明会を実施することで就職先の斡旋を行っている。			
課題とその解決方法 より多くの企業との連携作り。			
最終更新日付	2016年 5月 10日	記載責任者	桑野 幸仁

(鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 学内にキャリアサポートセンターを設置。年に数回合同企業説明会を実施している。			
課題とその解決方法 キャリアサポートセンターの設置や合同企業説明会が実施されているが、具体的に学生がどのように活動をしており、どこに就職したかなどフォローアップを的確に行うシステムを構築する必要がある。			
最終更新日付	2016年 4月 25日	記載責任者	堀之内 貴一

(スポーツ鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 学内にキャリアサポートセンターを設置。 4月は1学年対象に、12月には2・3学年を対象にそれぞれ企業説明会を開催。 他にも、年2回の同窓会セミナーを開催。			
課題とその解決方法 企業説明会およびセミナーは開催しているが、そこから具体的にどのように就職したかなどがわかるシステムを構築する。 キャリアサポートセンターと学科が連携し、学生の状況を把握し、企業説明会およびセミナーがいっそう意義のあるものにしていく。			
最終更新日付	2016年 4月 24日	記載責任者	松波 賢

(理学療法学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 キャリアサポートセンターによる求人票の管理及び自由閲覧を行っている。 また、医療機関・介護保険関連施設などの求人担当者を招き年1回の就職説明会を開催している。 更に、教員による面接指導・履歴書の添削などを行い、就職試験対策も実施している。			
課題とその解決方法 学生個別の就業イメージに合わせた指導・助言の充実を図る。			
最終更新日付	2016年 5月 9日	記載責任者	永野 忍

(アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ や や 足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 就職に関しては、卒業前に学科教員全員で就職活動に関する面談を実施している。			
課題とその解決方法 教育相談週間期間(年3回)を設定しているので、卒業後希望進路について状況把握していく。 学校内での企業説明会に参加させ、就職活動をサポートしていく。			
最終更新日付	2016年 5月 2日	記載責任者	寺本 敦司

(整体セラピスト学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 就職率は、通年連続 100%である。			
課題とその解決方法 学生との面談等を通して、将来の明確な目標設定を行うことで、就職に対して意識がさらに高くなる。			
最終更新日付	2016年 5月 28日	記載責任者	蓑田 のり子

4-19 資格取得率の向上が図られているか

(柔道整復学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 3学年では毎月、実力試験を実施している。各教員により実力テストを作成、また成績不振者に対しては面談、補講の実施を行い成績向上に努めている。			
課題とその解決方法 1・2学年から資格取得を意識した授業や補講を実施する。			
最終更新日付	2016年 5月 10日	記載責任者	桑野 幸仁

(鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 授業以外に資格取得に必要なセミナーなどを週3日ほど実施し、月に1回模擬試験を実施している。			
課題とその解決方法 セミナーは希望者にのみ実施しているため、各個人で差が生じる場合がある。 また成績不振者に関しては個別対応や面談などを実施し、学力・意欲向上に努める。			
最終更新日付	2016年 4月 25日	記載責任者	堀之内 貴一

(スポーツ鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 正規授業以外に、資格取得・国家試験対策セミナーを週に3回行うことに加えて、模擬試験を月に1度実施し、合格までの道筋を立てている。			
課題とその解決方法 セミナーは学力的に類似した少人数を対象にするのではなく、クラス単位で行うため、セミナー受講者間の学力に相当の開きがある。 これを極力小さくするために、個別対応を可能とするスケジュールと事前対応の計画を検討する。			
最終更新日付	2016年 4月 24日	記載責任者	松波 賢

(理学療法学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 在校生の国家試験対策のみならず、資格取得ができなかった卒業生へ聴講生として登校させ、国家試験対策を行っている。			
課題とその解決方法 学生個別の学力の分析を行うとともに、学生自身の自己分析能力を高め、学力向上のための指導・助言を行う。			
最終更新日付	2016年 5月 9日	記載責任者	永野 忍

(アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 資格試験対策をする上で、習熟度別にクラスを分けた授業も行っている。 また、本校教員だけではなく非常勤講師・卒業生の協力を受け、資格試験対策を実施している。			
課題とその解決方法 非常勤講師・卒業生のスケジュール調整が難しく、年度初めに資格試験対策の計画を立てておくことが重要である。			
最終更新日付	2016年 5月 2日	記載責任者	寺本 敦司

(整体セラピスト学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 カリキュラム構成、試験前対策などにより資格取得率が向上している。			
課題とその解決方法 将来の明確な目標設定に資格取得を組み込む。			
最終更新日付	2016年 5月 28日	記載責任者	蓑田 のり子

4-20 退学率の低減が図られているか

(柔道整復学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 退学率の低減を図るため、各クラス担任制にすることで、退学に至らないうちに面談や補講の実施など指導できるようにしている。			
課題とその解決方法 現状は、1名の教員が複数のクラスを担当している。これを1名の教員が1クラスずつ担任できるようにしたい。			
最終更新日付	2016年 5月 10日	記載責任者	桑野 幸仁

(鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 年度初めには全員を対象に、定期試験後には成績不振者を対象に面談を実施。また気になる学生に関しては不定期的に面談を実施している。			
課題とその解決方法 面談において学業等に関しては対策を講じることができるが、経済的理由などについては入学前の説明などでしっかり費用などについて説明しておく。			
最終更新日付	2016年 4月 25日	記載責任者	堀之内 貴一

(スポーツ鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 定期的に試験を行った後の面談時に、学力のことだけでなく、学生生活のことについても相談を受けている。			
課題とその解決方法 成績不振者の対策として行っているのが現状で、進路変更や経済的理由で退学することも考え、入学前の個人対応時の説明や入試の際の面接などで学校の正確な情報を認識してもらい、かつ、学科内で情報を共有していく。			
最終更新日付	2016年 4月 24日	記載責任者	松波 賢

(理学療法学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 クラス担任制を実施し、学生個別の対応として2者面談や保護者を交えた3者面談を必要に応じて随時実施している。 演習を取り入れ学生同士の交流を図りコミュニケーションをとることで、クラスの連帯感を向上させている。 経済的理由による学生からの相談があった場合は、学費サポートとして学生部と連携して相談に応じている。 年1回の健康診断や、臨床実習実施前は抗体検査を実施し健康への支援を行っている。			
課題とその解決方法 様々な方面からの情報収集に努め、頻回の面談を行い学習意欲の継続への援助を図る。			
最終更新日付	2016年 5月 9日	記載責任者	永野 忍

(アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 学科対応表を作成し、学生に何らかの変化が生じた場合、これに記入し、学科教員全てがその情報を共有することができている。			
課題とその解決方法 教育相談週間を設定し、学科教員が1・2学年全員に対し、学校生活について面談を実施する(年間3回)			
最終更新日付	2016年 5月 2日	記載責任者	寺本 敦司

(整体セラピスト学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 退学者無し。			
課題とその解決方法 授業でグループワークを取り入れる。			
最終更新日付	2016年 5月 28日	記載責任者	蓑田 のり子

4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

(柔道整復学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 ホームページ、パンフレット等でオリンピック帯同トレーナー、プロ選手専属トレーナーの活躍を伝えている。 また SNS を通しての情報配信も行っている。			
課題とその解決方法 校内に卒業生の活躍していることの情報提供する場所を作ること。			
最終更新日付	2016年 5月 10日	記載責任者	桑野 幸仁

(鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 同窓会に参加している卒業生に関しては部分的に活躍している状況等を把握できるが、全体としては把握できていない。 在校生は、活躍・評価を把握ができていないのが現状である。			
課題とその解決方法 キャリアサポートセンターのシステムをうまく構築し、卒業生の活躍している状況を把握できるようにする。 在校生はアンケート等を実施するなど把握できるシステムを構築する。			
最終更新日付	2016年 4月 25日	記載責任者	堀之内 貴一

(スポーツ鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 卒業生は同窓会に参加している者に関しては活躍・評価を把握しているが、一部に留まっている。 在校生は活躍・評価を把握ができていないのが現状である。			
課題とその解決方法 卒業生はアンケート調査を実施するとともに、同窓会に参加する者が増えるように、同窓会自体を更に価値あるものにしていく。 在校生はアンケート調査を実施するとともに、学校内で社会的な活躍に対する評価を明確にしておく。			
最終更新日付	2016年 4月 24日	記載責任者	松波 賢

(理学療法学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり <u>進んでいる</u> (4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど <u>進んでいない</u> (1) ・ あてはまらない(N)			
現況 卒業後の就職先を把握している。 在籍中から入会継続が可能な学生互助会（KMS サポート）にて各種セミナーを企画し、卒業後も知識・技術の向上を支援している。			
課題とその解決方法 必要に応じて相互に連絡をすることができる体制を構築する必要がある。			
最終更新日付	2016年 5月 9日	記載責任者	永野 忍

(アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり <u>進んでいる</u> (4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど <u>進んでいない</u> (1) ・ あてはまらない(N)			
現況 卒業生に関しては、資格試験再受験に関する連絡を実施している。			
課題とその解決方法 卒業生との連絡方法として、学校のホームページを利用することを検討し、資格試験案内などの情報発信できるよう検討している。 卒業生は、入学希望者の将来イメージにつながると考え、職場訪問を行い、取材していくことを検討している。			
最終更新日付	2016年 5月 2日	記載責任者	寺本 敦司

(整体セラピスト学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつ</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 在校生は、イベントなどの現場実習を行い、その状況を学校広報誌に掲載している。 卒業生は、就職後も定期的に連絡するなど状況把握をしている。			
課題とその解決方法 在校生は、個人面談を定期的に行う。 卒業生は、メールなどにて連絡を取る。			
最終更新日付	2016年 5月 28日	記載責任者	養田 のり子

基準5 学生支援 (平均評価：3.1)

5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつ</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 キャリアサポートセンターを設置して、就職および進学指導に関する体制を整えている。 年に2回、求人企業と就職を希望する学生が交流する企業説明会を開催している。			
課題とその解決方法 (課題) 求人情報は現在アナログ管理であるため、就職希望学生が希望する企業の紹介に手間取る。 (解決方法) 求人情報をデジタル管理に移行する。			
最終更新日付	2016年 4月 23日	記載責任者	味村 吉浩

5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか

(柔道整復学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 各クラス担任が中心となり、成績面、出欠席等において常に学生相談にのりやすいように努めている。 試験後の面談を行い、勉強の仕方等、指導を行っている。			
課題とその解決方法 現状は、1名の教員が複数のクラスを担当している。これを1名の教員が1クラスずつ担任できるようにしたい。			
最終更新日付	2016年 5月 10日	記載責任者	桑野 幸仁

(鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 学外のカウンセラーに相談する学生相談室を設置し、その案内を掲示しているが、一層の認知度を高めるべきである。 また週に1度という頻度のため、いつでも相談できるという環境ではない。			
課題とその解決方法 学生相談室の認知度を高めるために、告知の在り方についての工夫と利用を促進するように改善する。			
最終更新日付	2016年 4月 25日	記載責任者	堀之内 貴一

(スポーツ鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 校内掲示板に勉学や学費以外の学校生活全般における悩みなどの学生相談の告知が行われているが、一層認知度を高めるべきである。 また、利用者もいるが週に1度と限定されており、いつでも訪れることが可能というわけではない。			
課題とその解決方法 まずは認知してもらうために、校内掲示だけでなく、学生便覧・オリエンテーションでの説明を行う。 また相談室を確保し、窓口を明確化することで学生に利用しやすい環境を作る。			
最終更新日付	2016年 4月 24日	記載責任者	松波 賢

(理学療法学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 クラス担任制を実施し、学生個別の対応として2者面談や保護者を交えた3者面談を必要に応じて随時実施している。 スクールカウンセラーの利用希望などを受け付け、専門家からのサポートを実施している。			
課題とその解決方法 ホームルームや放課後の時間を活用し学生からの相談のみならず、定期的な呼び出し面談を実施する。			
最終更新日付	2016年 5月 9日	記載責任者	永野 忍

(アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 必要に応じて、個別面談を実施している。 また、相談内容に応じて、カウンセリングの受診を勧めるようにしている。			
課題とその解決方法 学生と定期的に面談を実施していないため、学生の学校生活などの状況把握が遅れることがある。 学生との定期的な面談週間（年3回程度）を設け、状況の把握に努める。			
最終更新日付	2016年 5月 2日	記載責任者	寺本 敦司

(整体セラピスト学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 個人面談を年2回行っている。 日頃より、授業時間外にも声掛けをしている。			
課題とその解決方法 学校生活以外の諸問題では、アドバイスをし、その後も声かけするなど様子を観察する。			
最終更新日付	2016年 5月 28日	記載責任者	養田 のり子

(学生相談室)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 各学科内で教員が行う学生相談のみならず、外部カウンセラーによる学生相談室を設けている。 平成 27 年度に実施された学生相談実施件数は以下である。 ・ 柔道整復学科 420 回 ・ 整体セラピスト学科 50 回 ・ アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科 90 回 ・ 理学療法学科 44 回 ・ 鍼灸学科・スポーツ鍼灸学科 287 回 ・ 学生相談室 64 回 学生相談実施件数の合計 955 回			
課題とその解決方法 学科内で頻繁に学生相談が実施されている。しかし、学科内で対応しきれない相談などもあるため、学生相談室をもっと活用する必要がある。 学生相談室を広く活用してもらえよう、ポスター掲示や呼びかけを積極的に行う。			
最終更新日付	2016 年 5 月 19 日	記載責任者	波多野 朝香

5-24 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 日本学生支援機構奨学金を中心に有効に機能している。 延期・分割納入制度を取り入れている。			
課題とその解決方法 奨学金貸与希望者の増加に伴う申請手続き処理件数の対応。			
最終更新日付	2016 年 5 月 19 日	記載責任者	大森 廣喜

5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ 当てはまらない(N)			
現況 附属診療所を併設している。			
課題とその解決方法 (課題) 学生の在校時間帯のすべてにおいて医師の確保ができていない。 (解決方法) 近隣医療機関等への搬送体制を整えている。			
最終更新日付	2016年 4月 23日	記載責任者	味村 吉浩

5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ 当てはまらない(N)			
現況 教育の現場で実施することが困難となりがちな研修をはじめ、学校として直接関わるができない福利厚生事業を、学校法人国際学園グループの相互扶助及び学校の協賛によって「KMSサポート」という形で支援している。学外で実施されるセミナーへの無料参加（年に12回開催）をはじめとして、関連施設であるトレーニングジムなどを自由に利用することができる。			
課題とその解決方法 サポートそのものは充実しているものの、学生への認知度を高めるための方策を講じるべきである。			
最終更新日付	2016年 5月 30日	記載責任者	田中 創

5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 不動産会社と提携の指定学生寮に遠隔地出身者を優先的に入寮させている。また、寮母が常駐し希望者には食事を提供して学業に専念できる生活環境を提供している。 指定寮に入寮出来なかった学生には、指定不動産会社を通して学校周辺の適切なマンションを紹介している。			
課題とその解決方法 学科の新設に伴い入寮希望者の増加が見込まれるので、不動産会社との関係を図り、より良い環境のマンションを提供していく必要がある。			
最終更新日付	2016年 5月 30日	記載責任者	大森 廣喜

5-28 保護者と適切に連携しているか

(柔道整復学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 成績や出席状況についての保護者との電話対応、面談を行っている。 欠席が多い学生、成績不振者に対して学校から電話連絡を行っている。			
課題とその解決方法 電話連絡についての明確な基準作り。			
最終更新日付	2016年 5月 10日	記載責任者	桑野 幸仁

(鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 定期的な保護者連絡会などは実施していない。 基本的には保護者に連絡が必要な場合のみ連絡するという体系をとっている。			
課題とその解決方法 必要であれば保護者連絡会などを実施する。			
最終更新日付	2016年 4月 25日	記載責任者	堀之内 貴一

(スポーツ鍼灸学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 保護者から連絡がある場合は、個々に担任が対応する形をとっているが、基本的に必要な場合を除き、学校側から保護者に連絡することはない。 例外として、学生が未成年の場合に限り、欠席が続いている時、学期末試験で合格点に達しなかった場合などに連絡をとっているが 未成年ではない場合には、学生本人から保護者には連絡するようにしている。			
課題とその解決方法 保護者への連絡を学生本人に任せているため、保護者から聞いていないという連絡がたまに入ってくる。 保護者との連携を高めるために、定期的な保護者説明会を開くことなどを検討する。			
最終更新日付	2016年 4月 24日	記載責任者	松波 賢

(理学療法学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 入学時と2年次に保護者説明会を実施し、学科における教育目標などを説明し、保護者と意識統一の上での連携を図っている。 出席状況や学習状況などによって保護者連絡を行い、状況の好転に向けて保護者と連携を図っている。			
課題とその解決方法 保護者への一方的な説明ではなく相互理解を得られるように詳細な説明を心がけ連携を図る。			
最終更新日付	2016年 5月 9日	記載責任者	永野 忍

(アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 年度ごとに成績表を保護者宛に郵送している。 欠席・遅刻が多い学生、学業不振の学生に関しては、各学年担任より保護者に電話連絡をしており、必要に応じては三者面談を実施している。			
課題とその解決方法 年1回の保護者向け説明会実施を検討する。			
最終更新日付	2016年 5月 2日	記載責任者	寺本 敦司

(整体セラピスト学科)

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現 況 連絡無く欠席した場合、保護者と連絡をとっている。 また、欠席が続くなど、特別な場合以外は連絡していない。			
課題とその解決方法 保護者の携帯番号が変わり連絡が取れないことがあった。 保護者の連絡先に変更があった場合には、早めに書類提出をするよう伝えている。			
最終更新日付	2016年 5月 28日	記載責任者	養田 のり子

5-29 卒業生への支援体制はあるか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現 況 卒業生が継続して学ぶことができるように医療や福祉、スポーツに関わる研修会を年間12回開催している。5-26に記載しているKMSサポートに卒業後も継続して加入することにより、研修会への参加が無料もしくは割引で受講できる。また、KMSサポートへの入会者は卒業後に資格毎の施術保険に加入することができ、現場での万一の事故に備えることができる。			
課題とその解決方法 卒業して北九州を離れると研修会などへの参加が難しく、卒業後教育を受けづらくなる。そのような学生には、動画の視聴（スマートフォンやパソコンなどで治療やスポーツに関わる動画を閲覧することができるシステム）を用いたサポートで対応している。			
最終更新日付	2016年 5月 30日	記載責任者	田中 創

基準6 教育環境 (平均評価：3.7)

6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 法令を遵守した施設および設備を整備している。			
課題とその解決方法 (課題) 教室の面積要件を満たしているものの最小で余裕がない。 (解決方法) 平成28年度に新校舎に移転するのを機会に、ゆとりのある教室の整備を図る。			
最終更新日付	2016年 4月 23日	記載責任者	味村 吉浩

6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 学外実習については、各学科ともに臨床実習という授業で例年通り実施した。(具体的には1単位=45時間、柔整学科：1単位、鍼灸学科及びスポーツ鍼灸学科：1単位、理学療法学科：20単位、アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科：3単位) インターンシップについてはいずれの学科も実施していないが、実質的には学外実習がインターンシップの機能を果たしている。 海外研修については、3/18から3/21の期間、本学教員3名と本学学生9名がグアムにてキャンプしていた国体級の大学生の水泳選手らに対して現地でトレーナー活動を実践してきた。			
課題とその解決方法 学外実習やインターンシップについては従来通りの体制で問題ないと考えますが、海外研修などの大掛かりな準備や学生の自己負担を強いるものなどについてはその都度管理者会議での審議事項とする。			
最終更新日付	2016年 4月 27日	記載責任者	中島 喜代彦

6-32 防災に対する体制は整備されているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 校舎移転にともない関係機関の指導、基準に沿いながら防災設備の確認や新たに管理体制を組織して定期的な点検を実地していく。 防災訓練については、防火管理者作成の消防計画に基づき毎年1回防災訓練を実施して、教職員及び学生の防災意識向上に努めている。			
課題とその解決方法 防災訓練は定期的実施しているが、学生数の増加に伴い、訓練内容の適正化を法人本部と協議のうえ対策を検討する必要がある。			
最終更新日付	2016年 5月 19日	記載責任者	大森 廣喜

基準7 学生の募集と受け入れ (平均評価：4.8)

7-33 学生募集活動は、適正に行われているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 現在広報部で手分けして、九州全域、山口地区の広報活動を展開。入学の可能性の高い高校生をA・B・Cに振り分け、オープンキャンパスへの参加を促している。毎月1回広報部会議を行い、進捗状況を確認しながら適正に募集活動を行っている。			
課題とその解決方法 各高校別の学校説明会、学校見学会の受け入れを行い、一層の募集活動の推進を適正に行っていく。			
最終更新日付	2016年 5月 30日	記載責任者	村方 浩典

7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

点検結果： <u>完璧(5)</u> ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 高校生、社会人、保護者に対して要望される質問等に的確に対応し、合格率や学生の状況も正確に伝える事ができている。			
課題とその解決方法 特になし。			
最終更新日付	2016年 5月 30日	記載責任者	村方 浩典

7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

点検結果： <u>完璧(5)</u> ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 入学試験での選考等については学則および学則細則に明記しており、それに則り実施している。具体的には入学試験管理会議にて書類審査・面接・筆記試験等の結果を点数化してその合計点の高い者から選抜している。			
課題とその解決方法 特に問題点や課題等はない。			
最終更新日付	2016年 4月 27日	記載責任者	中島 喜代彦

7-36 学納金は妥当なものとなっているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 本校は学科毎に学納金である入学金や授業料を定めている。学科毎に設定している学納金を北九州市近郊の類似の医療系の専門学校の同一学科の学納金と比較したところ、高くもなく安くもなくといった金額であった。その意味においては妥当なもの判断している。			
課題とその解決方法 学生支援機構からの奨学金受給者が在校生の65%に及ぶ現状に鑑み、学納金を少しでも減らすための経営を模索し続ける必要を感じている。			
最終更新日付	2016年 4月 27日	記載責任者	中島 喜代彦

基準8 財務 (平均評価：3.3)

8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 教育環境充実及び新規学科開設の為、平成27年に小倉北区馬借に新校舎を購入した。その為、借入金が増加している。流動資金で運転資金を確保しており資金面での不安は無い。			
課題とその解決方法 中長期経営計画を策定し、財政基盤の安定を図っていく。			
最終更新日付	2016年 4月 28日	記載責任者	西田 真紀

8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 予算作成に際し、理事会・評議員会で査定を実施し、適切な予算・収支計画を策定している。			
課題とその解決方法 おおむね妥当であり、特に問題なし。			
最終更新日付	2016年 4月 28日	記載責任者	西田 真紀

8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 監査に関しては毎年、内部監査を受けており適正かつ計画どおり実施されている。			
課題とその解決方法 適正に行われており、特に問題なし。			
最終更新日付	2016年 4月 28日	記載責任者	西田 真紀

8-40 財務情報公開の体制整備はできているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや 足りない (2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 財務に関し、財産目録、貸借対照表、資金収支計算書、資金収支内訳表、消費収支内訳表等の書類の整備はできているが、公開に関しては検討中である。			
課題とその解決方法 公開について要検討。			
最終更新日付	2016年 4月 28日	記載責任者	西田 真紀

基準9 法令等の遵守 (平均評価：3.3)

9-41 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり 進んでいる (4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 平成20年4月の開学以来、学校および各学科ともに法令、設置基準等の遵守と適正な運営に努めてきたが、看護学科の開設準備を通して学則関連文書の不備が散見された。			
課題とその解決方法 学則関連文書の不備については、看護学科の開設準備を契機に福岡県の監督官庁からの助言を取り入れ見直しを図った。			
最終更新日付	2016年 4月 27日	記載責任者	中島 喜代彦

9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現 況 就業規則等に個人情報の保護等について記載し、新入職員には辞令交付後のオリエンテーションで口頭説明しているが、現教職員への個人情報保護の厳守については本人の常識に委ねている。 学生が学外実習等で知る患者などの個人情報の取扱い等については実習前オリエンテーションで徹底して指導し、実習先等ともその厳守に関し文書を取り交わしている。 本学の規程の一つとして個人情報保護に関する規程を設けているが、記載内容の再考が必要である。			
課題とその解決方法 5年前に策定した個人情報保護に関する規程の内容の見直しとその内容を教職員へ周知徹底させる。 学校法人国際学園グループとしての「職場規律とルールブック」の冊子を作成し、全職員一人一人に配布予定。この冊子を熟読し、記載されている各ルールの厳守を期待する。			
最終更新日付	2016年 4月 27日	記載責任者	中島 喜代彦

9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ ふつう(3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現 況 旧来は学生による授業評価をもって自己点検・自己評価としてきたが、学校全体を点検・評価することの重要性に鑑み、今年度(平成27年度)からはこの評価表に示す46項目について担当者(自己点検・自己評価委員会の委員が担当)を決め、点検・評価を実施した。初めての本格的な点検・評価の実施にしては全体の概略は掴める報告内容になっていると判断できる。			
課題とその解決方法 自己点検・自己評価の結果をもとに自己点検・自己評価委員会で吟味し、問題点や課題を明確にし、その解決方法を提示する。この結果を学校関係者評価委員会での審議事項として提起する。			
最終更新日付	2016年 4月 27日	記載責任者	中島 喜代彦

9-44 自己点検・自己評価結果の公開はしているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう(3)</u> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 平成26年度までの自己点検・自己評価は学生による授業評価であり、その結果は教務部で集計され次年度の授業運営の糧に利用してもらうために担当教員にのみ文書で報告しており、その意味においては非公開という状況にあったが、今年度の結果については本学のホームページで公開予定にしている。			
課題とその解決方法 6月中旬に開催する予定の学校関係者評価委員会への報告後に本学のホームページに掲載予定			
最終更新日付	2016年 4月 27日	記載責任者	中島 喜代彦

基準 10 社会貢献 (平均評価：3.0)

10-45 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう(3)</u> ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内外の中学生・高校生を対象としてサッカーフェスティバルを開催し、トレーナーを配置し試合会場における選手のケア活動を行っている。 ・ 現在活躍中のプロのトップアスリートを招聘して、「医療とスポーツのシンポジウム」「教育フォーラム」を開催し、一般に公開している。 ・ 最前線の医療関係者を招聘して、セミナーを開催し、県内外から多くの参加者を得ている。 			
課題とその解決方法 いずれのイベントも参加者には好評を得ているが、内容を本校の目指す「zero100プロジェクト」とさらにリンクさせて改善していく。			
最終更新日付	2016年 4月 15日	記載責任者	中村 潤

10-46 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

点検結果： 完璧(5) ・ かなり進んでいる(4) ・ <u>ふつう</u> (3) ・ やや足りない(2) ・ ほとんど進んでいない(1) ・ あてはまらない(N)			
現況 地域で行われる健康・スポーツに関するイベント（健康フェスタ、マラソン大会、ウォーキング大会等）に学生のボランティアを派遣し、肺年齢測定・関節可動域測定等の簡易な検査およびストレッチ・マッサージブース活動を行っている。			
課題とその解決方法 現在は本校へのボランティア派遣依頼に応じる形態が中心となっているので、今後は学生自らが主体的に企画・立案・実施できるボランティア活動を推進していく。			
最終更新日付	2016年 4月 15日	記載責任者	中村 潤